

2020 年 6 月 16 日
弁護士ドットコム株式会社

弁護士ドットコム株式会社の戦略アドバイザーに浅田慎二氏が就任 電子契約「クラウドサイン」の拡大を加速

弁護士ドットコム株式会社（東証マザーズ 6027、東京都港区、代表取締役社長：内田 陽介）はこの度、クラウドサイン事業部の戦略アドバイザーとして、Salesforce Ventures の Japan Head を務めた浅田慎二氏を迎えました。浅田氏が持つ BtoB・SaaS ビジネスにおける豊富な経験と幅広い見識により、クラウドサイン事業部の強固な組織体制と事業戦略の構築を図り、さらなるサービス拡大を目指してまいります。



・浅田 慎二氏 プロフィール

伊藤忠商事株式会社および伊藤忠テクノソリューションズ株式会社を経て、2012 年より伊藤忠テクノロジーベンチャーズ株式会社に、ユーザベース、メルカリ、WHILL、Box などへの投資および投資先企業へのハンズオン支援に従事。2015 年よりセールスフォースベンチャーズ日本代表に就任。ビズリーチ、freee、Sansan、ヤプリ、Andpad など多数の BtoB クラウドベンチャー企業への投資・支援を手掛けた経験を持つ。2020 年 4 月に One Capital 株式会社設立 同社代表取締役 CEO 就任

・浅田氏よりコメント

サービスローンチ時からクラウドサインには注目していました。事業責任者の橘さんの推進力が凄いという噂は多くの SaaS 関係者から聞いていました。すでに日本国内の電子署名サービスのトップポジションを確保しているクラウドサインですが、今後 SMB から Enterprise へと戦線を拡大する上で、戦略策定と実行のご支援ができればと思い、今回引き受けさせて頂きました。新型コロナウイルスの感染リスクを冒してまで、捺印業務のために出社をするという残念な状況が続く企業がまだ多くある中、「命を守るクラウドサイン」と言っても過言では無い程重要なサービスであり、今後の更なる成長を後押しできるよう全力で支援して参りたいと考えております。

■ 今後の展開

クラウドサインは、2015 年 10 月のサービス提供以来、導入企業数は 8 万社を突破した業界 No.1 の Web 完結型クラウド契約サービスです。最近では、契約書をはじめとする紙文書での取り交わしや押印作業などがリモートワークの導入の妨げになっており、契約書の電子化を推進しています。クラウドサインは今後も、サービスの拡大に止まらず、ユーザー企業を成功に導く強固な組織体制の構築や、日本企業における電子契約の浸透に向けた取り組みを図り、電子契約市場を牽引するマーケットリーダーを目指します。

弁護士ドットコム株式会社について <https://corporate.bengo4.com>

本社 | 東京都港区六本木四丁目 1 番 4 号

設立日 | 2005 年 7 月 4 日

資本金 | 439 百万円（2020 年 3 月現在）

代表者 | 代表取締役会長 元榮 太郎（弁護士）、代表取締役社長 内田 陽介

上場市場 | 東京証券取引所マザーズ市場

事業内容 | 「専門家をもっと身近に」を理念として、人々と専門家をつなぐポータルサイト「弁護士ドットコム」「ビジネスロイヤーズ」「税理士ドットコム」、Web 完結型クラウド契約サービス「クラウドサイン」を提供。

< 本件におけるお問合せ先 >

弁護士ドットコム株式会社 経営企画室 広報担当

所在地 | 〒106-0032 東京都港区六本木四丁目 1 番 4 号

T E L | 03-5549-2854 / F A X | 03-5549-2565